

# The Cat Fanciers' Association, Inc.

## ジャッジングプログラムルール

2001年10月1日施行(2003年6月改訂)

下線部分は変更点

(この規則は2004年12月31日まで有効。2005年1月1日現在で、インターナショナル・ディビジョン・ジャッジング・プログラム・ルールは、その時に有効な、このジャッジング・プログラム・ルールに復帰する。2004年12月31日現在でそのプログラムにおけるアプレントイス、アブルーバル・ペンディングのジャッジは規制条項免除で資格を得るだろう、すなわち、そのジャッジはアブルーブドの資格に昇格するまで、2004年12月31日現在のインターナショナル・ディビジョンの規則に従う事になる。)

### 第1章 定義

**アPLICANT (APPLICANT :申請者)**. 21 歳かそれ以上で、CFA ジャッジング・プログラム申請用紙と費用をジャッジング・プログラム・コミッティーのセクレタリーに提出している個人。

**トレイニー (TRAINEE)**. アプリカントで、エグゼクティブ・ボードで 2/3 以上の賛成票で、ジャッジング・プログラムに受け入れられた者で、アプレントイス・ジャッジの地位に昇格するための考慮の前に、ブリード/ディビジョン カラークラスの評価技法の練習を行っている者。

**アプレントイス・ジャッジ (APPRENTICE JUDGE)**. ブリード/ディビジョン カラークラスの審査技法の全ての課題を申し分なく成し遂げ、エグゼクティブ・ボードで 2/3 以上の賛成票で、アプレントイス・ジャッジの地位へ昇格したジャッジ。

**アブルーバル・ペンディング・ジャッジ (APPROVAL PENDING JUDGE)**. アプレントイス・ジャッジとして、申し分なく全ての要求項目を成し遂げ、エグゼクティブ・ボードで 2/3 以上の賛成票で、アブルーバル・ペンディング・ジャッジの地位へ昇格したジャッジ。

**アブルーブド・ジャッジ (APPROVED JUDGE)**. アブルーバル・ペンディング・ジャッジとして、申し分なく全ての要求項目を成し遂げ、エグゼクティブ・ボードで 2/3 以上の賛成票で、アブルーブドジャッジの地位へ昇格したジャッジ。

**シングル・スペシャリティー・ジャッジ (SINGLE SPECIALTY JUDGE)**. オール・ロングヘア・スペシャリティー・ショー(またはその一部)か、オール・ショートヘア・スペシャリティー・ショー(またはその一部)のいずれかで審査する事を認められているジャッジ。しかし、両方とも

の審査は出来ない。

**エニー・スペシャリティー・ジャッジ (ANY SPECIALTY JUDGE)**. ロングヘア・スペシャリティー・ショーとショートヘア・スペシャリティー・ショーの両方、もしくはそのいずれか一方か、両方のどのような部分でも、審査する事が認められているジャッジ。

**オールブリード・ジャッジ (ALLBREED JUDGE)**. オールブリードショーを含む、あらゆるタイプのショー、またはその一部で審査する事を認められているジャッジ。

**プロベシヨナリー・ステータス (PROBATIONARY STATUS :見習い状態)**. エグゼクティブ・ボードによりトレイニーとして受け入れられている個人や、アプレントイス・ジャッジ、リコンシダレーション・ステータスの者が、予告や説明なく、エグゼクティブ・ボードの 2/3 以上の賛成票により、落とされる可能性がある期間。

**リーブ・オブ・アブセンス (LEAVE OF ABSENCE :欠席許可)**

A. 審査活動をしない期間で1年を越えない。リーブ・オブ・アブセンスはそのジャッジか、ジャッジング・プログラム・コミッティーの要求により、エグゼクティブ・ボードにより承諾される。

B. 医療上の理由によるリーブ・オブ・アブセンスはそのジャッジによる要求があった場合に、ジャッジング・プログラム・コミッティー、またはエグゼクティブ・ボードの判断により、承諾される。

5年間、医療上の理由で欠席状態にあるジャッジは、自動的にジャッジング・プログラムから引退する事になる。

**リフレッシュャー・コース (REFRESHER COURSE :補習コース)**. 以前 CFA ジャッジであった者、今現在の CFA ジャッジで審査の舞台から欠席していた者のためのコース。このコースはそのジャッジが猫種の知識や技能を更新し、進歩できるようデザインされている。アブルーブド・オールブリード・ジャッジの指導下で審査法が伝授される。評価表が監督者であるジャッジにより仕上げられ、ジャッジング・プログラム・コミッティーに送り返される。ジャッジング・プログラム・コミッティーはこれらの報告を再検討し、エグゼクティブ・ボードへの勧告状を作成する。リフレッシュャー・コースを申し分なく成し遂げたそのジャッジの地位は、エグゼクティブ・ボードの 2/3 以上の賛成票で決定される。カラ

ークラス/ソロクラスの数は監督者であるジャッジにより、提出された評価に基づき決められる。

**リコンシダレーション・ステータス(RECONSIDERATION STATUS :再考慮の状態)**。以前にライセンスを取得していたCFAのジャッジで、エグゼクティブ・ボードの2/3以上の賛成票によりジャudging・プログラムに受け入れられ、リフレッシュャー・コースを受講中の者。

## 第2章 ジャudging・プログラムへの最初の申請

### A. 最初の申請のための正式な必要条件

1. アプリカントは少なくとも21才以上でなければならない。
2. ジャudgingプログラムへの申請のための全ての必要条件は、その申請がジャudging・プログラム・コミッティーにより日付を記し、ファイルされる申請時に満たされていないなければならない。
3. アプリカントはシングルス・ペシャルティーか、もし、第2章のA.7と8項の必要条件が両スペシャルティーに対して、等しく満たされているならば、ダブル・スペシャルティーに申請することができる(しかし、それを推奨するものではない)。もし、そうするのであれば、申請料は2倍である。
4. アプリカントは最低でも、申請の少なくとも3ヶ月前までに、サーティファイド・クラークの資格を持っていないなければならない。これに加えて、アプリカントは3回の間違いないマスター・クラークとしての任務を成し遂げていないなければならない。
5. アプリカントは少なくとも10年間、CFAに登録されたキャットリー・ネームを持っていないなければならない。インターナショナル・ディビジョンのアプリカントは、FIFe、GCCFまたは独立した協会のいずれかに、7年間登録されており、その7年のうち少なくとも4年間、CFAに登録されているキャットリーを持っていないなければならない。キャットリー登録の写しが用意されなければならない。
6. アプリカントは、少なくとも一つのCFAメンバーであるクラブからの、5年以上クラブメンバーとして積極的に、継続して参与していることを証言する手紙を、提出しなければならない。その手紙はそのクラブの会長とセクレタリーのサインがなければならない。アプリカントがこれらの役職の一つに就いている場合は、その他のクラブ役員がサインしなければならない。(アプリカントの転居はエグゼクティブ・ボードにより考慮される。)クラブでの活動の、詳細で具体的な要約が提出されなければならない。ショーマネージャーまたはショーセクレタリーとしての経験が推奨される。

7. CFA ジャudging・プログラムへの最初の参入で、ファースト・スペシャルティーのために、アプリカントは以下の要求項目に合致していなければならない:

1. 10年の継続した繁殖経験。詳細な繁殖経験の要約が提出されなければならない。
2. アプリカントの最初の所有し繁殖したリター登録での、その生年月日が提出されなければならない。(アプリカントの所有キャットリー名のある、実際の登録のコピーが提出されなければならない。)

申請は、相当するスペシャルティーでのアプリカントの最初の登録リターの生年月日から10年より早くに、受け付けられることはない。

8. a. 出陳:アプリカントは相当するスペシャルティーにおいて、少なくとも自分自身が繁殖した10頭の猫をCFA グランド・チャンピオン/グランド・プレミアの地位になるまで、出陳していなければならない。エージェントを含めた詳細で具体的な出陳経験の要約が、申請の一部として提出されなければならない。アプリカントは自分が申請するスペシャルティーで、自分の主となる猫種に加えて、一つかそれ以上の猫種を出陳する事を含む経験を持たなければならない。アプリカントはこれらの活動に関して、詳細で具体的な情報を添えることが望ましい。

b. アプリカントは相当するスペシャルティーで、以下にある表から、15ポイントを得る範囲まで猫を繁殖するか、またはショーに出している事が要求される。得点の1セットだけが1頭の猫あたり、認められる(例:同じ猫のNWとRWは、この2つの勝利のうちの、より高いものに対してだけ、算定される、この場合、それは8ポイントである。)

ナショナル・ウイナー(NW) . . . 8点  
ナショナル・ベスト・オブ・ブリード . . . 7点  
リジョナル・ウイナー(RW) . . . 5点  
ディステイングイッシュド・メリット(DM) . . . 5点  
セカンド・ベスト・ブリード(ナショナル) . . . 4点  
サード・ベスト・ブリード(ナショナル) . . . 3点  
グランド・チャンピオン/グランド・プレミア\* . . . 1点  
\*(5点を上限とする;これらは上記の上記の8項に参照されている、10グランドチャンピオン/グランドプレミアに加えてである。)

A項(10頭のグランド・チャンピオン/グランド・プレミアを示す)とB項(15ポイントの蓄積を示す)からなる、得点表が完成され、最初の申請とともに、ジャudging・プログラム・コミッティーに提出される。

c. 追加的経験:キャットリー訪問/エージェンティング。ロングヘアへのアプリカントは、最少5つのキャットリー訪問報告書を提出しなければならない。ショートヘアへのアプリカントは、最少7つのキャットリー訪問報告書を提出しなければならない。どちらの場合も、多様な猫種であることが推奨される。訪問キャットリーの所

有者は、見学の対象となった猫種のブリード・カウンシルに属していなければならない。エージェンティングの書式(エージェント出陳猫の所有者のサインがある)は、出陳要約の一部である。その猫をショーに連れて行き、ショーでその猫をグルーミングし、ショーの夜はその猫の世話をし、その猫をリングに連れて行き、リングから下げることに、その猫の完全な世話と管理が必要とされる。もし可能なら、エージェントはその猫のショーの前の入浴とグルーミングも請け負わなければならない。

9. そのアプリカントが行った申請相当するスペシャリティーのための CFA ブリード・アウエアニス・アンド・オリエンテーション・スクールに参加することが要求される。

10. 合衆国大陸とカナダからのアプリカントは少なくとも自分のリジョンの外の2つのリジョンでの出陳経験を持たなければならない。

11. アプリカントは、猫愛好者たちと、その人の地域社会の両方で評判がよくなければならない。

12. アプリカントは CFA スタンダード、CFA ショールールとジャッジング・プログラム・ルールを完全に理解していなければならない。

13. CFA と類似した目的で組織された団体のメンバーや、何らかの形でその組織に関連しているアプリカントは、CFA ジャッジング・プログラムへのその人の参入後、15日以内に、そのようなものからの離れたことの証拠を添えることが望まれる。今後、その人は、CFA のジャッジング・プログラムにいる間は、そのようななどの団体にも参加してはならない。

他の団体のジャッジであるか、ジャッジであったアプリカントは、その個々人の背景にある、その人の前団体でのクラブ員であったこと、繁殖経験、CFA ジャッジング・プログラムで必要とされる事項に該当する受賞歴に関する経験に基づいて、考慮がなされる。第2章 A.4 項に述べられているように、CFA クラッキングの要求事項に合致することは、他団体のジャッジにより、申請がそのような他の団体から、CFA ジャッジング・プログラムへなされる前に必要とされる。

CFA と類似した団体から来るオールブリード・ジャッジは、最小としてセカンド・スペシャリティー・トレイニーのために置かれている現在のカラークラスの要求事項に合致していなければならない。パフォーマンスに基づいて、追加の授業が必要とされるだろう。

14. 以下は FIFe と他の世界的な団体からの、正規の CFA ジャッジング・プログラムに参加したいと願うジャッジのための、必要事項のリストである。個々人の資格に基づいて、そのアプリカントは、受け入れられるが、アプルーバル・ペンディングより高い地位に受け入れられることはない。そのアプリカントが十分な期間オールブ

リード・ジャッジである場合は、そのアプリカントは アプルーバル・ペンディング、もしくは、両スペシャリティーのアプルーバル・ペンディングとして考慮される。これらの必要事項は最初の申請に対し適応されるものであって、現時点でのエニー・スペシャリティーには適応されない [第7章、B と C 項参照]。他の団体からの等価なタイトルは 2004 年 12 月 31 日まで受け入れられるだろう。ダブル・スペシャリティーへのアプリカントは両スペシャリティーに対し、8 項の必要事項に合致しなければならない。

1. 7 年間の登録キャッテリー
2. CFA のグランドに相当するグランドの必要性
3. サーフアイド・リング・クラークの資格
4. そのジャッジが申請する CFA スペシャリティーにおける猫の認可
5. CFA ジャッジング・ブリード・アウエアニス・アンド・オリエンテーションスクールへの参加
6. CFA のゲストジャッジを 7 回行う
7. CFA ジャッジング・ブリード・アウエアニス・アンド・オリエンテーションスクールまたは CFA ジャッジング・ワークショップにその最初の評価訓練の間に参加しなければならない。

#### B. 最初の申請のための公式ではない必要事項

完全なジャッジであるためには、必要なスタンダードとメカニクスの知識に加えて、多くの事が必要である。能力と性格ということにおいて、

1. 申請がなされたスペシャリティーを包括する猫種のハンドリングに関する知識と技術。その猫に相対するとき、それぞれが、最も好ましく反応するようにするためには、猫種間に微妙な差異がある。
2. 忍耐強さと、内的な、または外的なストレスと妨害の下、神経質な猫を安心させるような、落ち着いた態度を維持する能力。
3. 横柄さのない自信
4. 人と猫の両方に対し、どのような状況にありうと、感情と気分を制御する能力。
5. しっかりした、論理的な決断に到達し、迷いや、自分を疑うことなく、その決断を変えない能力。
6. 個人的な好みと偏見を除き、それぞれの競技参加猫に対し、ただ単に、現在の CFA スタンダードに基づいて審査する能力。
7. 審査リングを完全な制御下に置く能力、一方では、同時にそのリングでの働く人々と一致して、調和を維持する能力。
8. 起こりうる不愉快な雰囲気や、見物人からのコメント

に直面しても、平静さを持ち続ける能力。

9. 思慮のあるショーマンシップのための能力、それは観衆の注目を引きつけ続ける事が出来、一方、同時に、完全に威厳を保ちつつ、ショーの根拠である猫が、注目の焦点となるようにし、それにより、全ての猫に興味をもたれるようにすることである。いつも、脚光を得なければならないのは、猫である。

CFA の名誉となるジャッジのために、決してそれで全てというわけではないが、無形の必要条件が幾つかある。エグゼクティブ・ボードは、メンバーであるクラブ、CFA のショーの出陳者、このようなショーに参加するために入場料を払っている人々に対し、CFA ジャッジの称号をゆだねるというライセンシングについて、とても注意深く選択しなければならない責務があることを、厳格に自覚している。

これらの無形の必要事項の多くは、CFA が誇りとする事ができるジャッジを作るもので、天性のものであり、その他にも、学んで身につけられるだろう必要事項もある。いくつかは、猫の全ての種類に広く接し、深い興味を持つことを必要とし、短かすぎる時間で学び得ることではない。CFA のジャッジになりたいと望む人はそれぞれ、ジャッジング・プログラムに申請をする前に、その望みに十分に献身し、自分が参加猫をショーリングで審査することを望まれたとして、客観的に、自分自身の今現在の審査する事に対する潜在能力を見渡し、審査する事に対する責任を負う用意が出来たと、自分自身が絶対的確信するまで申請を待つよう、自己を律することが望まれる。もしその申請が時期尚早になされた場合には、ジャッジング・プログラムへ受け入れられたアプリカントはそれぞれ、多くの人々にとっては、浪費されてしまう多くの時間と努力を受けとるだけの者となってしまふ。

### 第3章

#### 最初と2番目のスペシャリティー申請の仕組み

##### 最初の申請

A. CFA ジャッジング・プログラムへの入会を申請を希望する個人は、申請書を入手するために、ジャッジング・プログラム・コミッティーに手紙を書く。ジャッジング・プログラムに関し、適用するルールと規約のコピーが、それらを要求したそれぞれの個人に送られてくる。

B. アプリカントになるようとする者が、自分がジャッジング・プログラムへの参加許可を得ようとするために十分に資格があると思うなら、申請書を2部仕上げる。オリジナル(白い用紙)は、ジャッジング・プログラム・コミッティー・デザイナー(被指名者)へ添付書類とともに送りがえさなければならない。2枚目の写し(黄色の用紙)は、そのアプリカントが属するリジョンのディレクターへ送られなければならない。インターナショナル・ディビジョンのアプリカントは、2枚目の写し(黄色の用紙)をインターナショナル・ディビジョン議長に送る。該当するリジョン・ディレクターまたは、インタ

ーナショナル・ディビジョン議長は、そのアプリカントが送ってきた申請書の黄色の用紙に署名し、それを直接ジャッジング・プログラム・コミッティー・デザイナーに送付する。

C. アプリカントの最近のカラー写真と、ザ・キャット・ファンシャーズ・アソシエーション宛への合衆国通貨で支払い可能な小切手が為替を、要求する申請料(申請書に同封されてくる手紙に記載されている)として、ジャッジング・プログラム・コミッティーへ送られる、いずれの申請にも添えなければならない。アプリカントがジャッジング・プログラムへの参加許可を得られなかった場合は、50%の払い戻し料がCFA に保留される。しかしながら、そのようなアプリカントは1年経過した後に、そのプログラムへの参加許可のために再申請する事が出来る。再申請は、その時現在の、全申請料が必要である。

D. アプリカントがその申請を、申請書にある日付の30日以内に撤回しようと望む場合は、その者はそれをする事ができ、その申請料は返還される。その様なアプリカントによる、再度の申請が受け入れられるためには、その後1年が経過していなければならない。

E. アプリカントがこのプログラムに受け入れられた場合、その申請料は、そのアプリカントがアブルーブ・ジャッジの地位に昇格するまでの間の活動のためのCFAの費用の一部分に充てられるだろう。

F. オールブリード・ジャッジへの申請は受理されない。

G. 推薦状:

1. アプリカントは、その者の猫を愛好することに対しての活動がよく知られ、高く評価されており、ジャッジング・プログラムへ参入したいという、その者の意志を表明した場合に、個々のクラブや個人個人が、負担感をもたらずような圧力なく、自発的に推薦状を送りたいと望む事が、期待される。現在資格を持つCFAのジャッジとCFAのボードのメンバーに申請の必要条項を満たすために、好ましい人物評を提出するよう懇願してはならない。

2. 少なくとも3通のCFAクラブの正式な推薦状が必要であり、少なくともその2つは、エグゼクティブ・ボードによる受諾のためのアプリカントの審査の日より前、24ヶ月以内に、CFAのショーを開催したクラブのものでなければならない。クラブの推薦状は定期的に予定されている、そのクラブの会議で討議されなければならない。そのクラブの議長とセクレタリーのサインがなくてはならない。アプリカントがこれらの役職の1つに就いているなら、もう1人のクラブ役員がサインしなければならない。これらの手紙はジャッジング・プログラム・コミッティーに直接送られ、秘密でなければならない。

3. 1つの出所から生じた複数の推薦状は1つの推薦状として処理される。

4. 個人に関する推薦の手紙(少なくとも3通必要)は、ジャッジング・プログラム・コミッティーに直接送られ、秘密でなければならない。推薦の手紙、またはそこからの写しはアプリカントに送られてはならないし、アプリカントが推薦状のどのような事前閲覧をも頼むことはできない。

5. 最初の申請のための全ての必要事項をジャッジング・プログラム・コミッティーが、その会議の6ヶ月より前に受け取った時は、CFA のアルマナックの続いた2つの号にそのアプリカントの名前のリストが掲載される。そのうちの1つはメンバー・エディションでなければならない。その後、その申請は、そのまま、エグゼクティブ・ボードにボード・ミーティングでの審査のために提出される。ジャッジング・プログラム・コミッティーによる申請書受理の期限は CFA アルマナックの後ろにある、CFA の予定表で見ることができる。

6. その日付が公表されて1年以内に終えられない申請は、活動的ではないとみなされる。そのようなアプリカントがジャッジング・プログラムに、その後の時点で参入許可の申請を望む場合は、そのような申請は新たな申請として処理され、その時点での申請料を(既に提出されている料金に加えて)添えなければならない。署名され、反対意見が述べられた手紙は実証されなければならない、また、定例に予定されているエグゼクティブ・ボード・ミーティングで 2/3 の投票による、ジャッジング・プログラムへの参入許可のための、アプリカントの審査の前、6週間以上前にジャッジング・プログラム・コミッティーに受け取られていなければならない。

アプリカントはジャッジング・プログラム・コミッティーに通告された、どのような反対意見の手紙に対しても、書面での応答を用意する機会を与えられる。いずれの反対意見の手紙も、書面での応答も、申請ファイルの一部として、ボードに提出される。

ジャッジング・プログラム・コミッティーは”推薦する”か”推薦しない”の決定をアプリカントに通知する。”推薦しない”の場合には、コミッティーは反対勧告の理由を知らせる。その時に、アプリカントは自分の申請を、好ましいとされる勧告を得るために必要な作業が成し遂げられるまで、保留する事が出来る。アプリカントがその申請を続行し CFA エグゼクティブ・ボードにより再検討されるよう望む場合は、推薦しない理由に対し意見し、反駁する手紙が、その申請書の書類の中に含まなければならない。

## 2番目のスペシャリティーへの申請

A. 次のスペシャリティーへ進む事を望むアブルーバル・ペンディング・シングル・スペシャリティーのジャッジは、ジャッジング・プログラム・アプリケーション申請書を仕上げる必要はない。しかし、要求される申請料( the Cat Fanciers' Association, Inc.に宛てた U.S.通貨で支払い可能な小切手が為替)をジャッジング・プログラム・コミッティーへ送付しなければならず、2番目のスペシャリティーにおける、猫種への労力と取り組みの概略を述べた文書を添えなければ

ならない。その文書には、キャッテリー訪問とエージェンティング(以下の追加的経験の項で概略は述べる)、ブリード・セミナー、ジャッジ・ワークショップへの参加、テストの点数、出陳とブリーディングの概略が含まれる。CFA ブリード・アウエアニス・アンド・オリエンテーション・スクールの相当するスペシャリティーへの参加が必要とされる。アプリカントは2番目のスペシャリティーを構成している全ての猫種への技術的なその猫種の知識を持つ事が期待される。

**追加的経験:**キャッテリー訪問/エージェンティング。ロングヘアーへのアプリカントは最低5つのキャッテリー訪問レポートを提出しなければならない。ショートヘアーへのアプリカントは、最低7つのキャッテリー訪問レポートを提出しなければならない。いずれの場合にも、多種類の猫種であることが勧められる。その訪問キャッテリーのオーナーは、見学の対象となった猫種のブリード・カウンシルに属していなければならない。エージェント出陳された猫のオーナーのサインにより証明されたエージェント報告書は、文書を含むものである。その猫の完全な世話と管理とは、その猫をショーに連れて行くこと、そのショーでその猫をグルーミングすること、そのショーの夜にアプリカントの世話のもとにその猫を置くこと、その猫をリングに運び、下げることを要求される。可能であるならば、そのエージェントはその猫のショーの前の入浴とグルーミングをも任せられなければならない。

B. 2番目のスペシャリティーへの申請のための全ての文書がジャッジング・プログラム・コミッティーに次のエグゼクティブ・ボードのミーティングの少なくとも6週間前に受け取られたとき、その文書は審査のためにエグゼクティブ・ボードへそのまま提出される。この期限は最初の申請のための6ヶ月の期限と同等に生じるものである。ジャッジング・プログラム・コミッティーによる申請の受理のための期限は、CFA アルマナックの後ろにある CFA 予定表で見いだされるだろう。

ジャッジング・プログラム・コミッティーは”推薦する”か”推薦しない”の決定をアプリカントに通知する。”推薦しない”の場合には、コミッティーは反対勧告の理由を知らせる。その時に、アプリカントは自分の申請を、好ましいとされる勧告を得るために必要な作業が成し遂げられるまで、保留する事が出来る。アプリカントがその申請を続行し CFA エグゼクティブ・ボードにより再検討されるよう望む場合は、推薦しない理由に対し意見し、反駁する手紙が、その申請書の書類の中に含まなければならない。

## 第4章

### ジャッジング・プログラムへの受諾

A. それぞれのアプリカント(最初 / 2番目のスペシャリティー)の名前は、完成した全ての関連資料を含む必要とされる申請書が、ジャッジング・プログラム・コミッティーに受領された後、(最初の申請に対しては)少なくとも6ヶ月以降に開かれる、(2番目の申請に対しては、)6週間以降に開

かれる、最初のミーティングで、CFA エグゼクティブ・ボードへ提出される。

B. 必要項目を完成した上での受領/昇格はエグゼクティブ・ボードの記名投票による。全ての必要書類、関連資料、ジャッジング・プログラム・コミッティーとエグゼクティブ・ボードに有効とされた申請者に関する、その他の全ての適切な情報がジャッジング・プログラム・コミッティーとエグゼクティブ・ボードにより審議された後、そのエグゼクティブ・ボードに出席しているメンバーの 2/3 以上の賛成票が受領/昇格のために必要とされる。

C. CFA リジョン内の同様な団体のジャッジやジャッジを続けている人物からの申請は、ジャッジング・プログラム・コミッティーにより考慮がなされるだろう。全てのこのような申請者は、その人々の背景が何であれ、定期に予定されているエグゼクティブ・ミーティングにおいて、エグゼクティブ・ボードの投票によりジャッジング・プログラムに受け入れられた時に、ブリード/ディビジョン カラークラス評価表を完成させることで、その実力を立証することが要求される。同様な団体における審査経験が、申請者にどんな特権も与えることはなく、5年間の CFA クラブのメンバーであること、10年間の継続した繁殖経験、彼ら自身の繁殖での 10頭のグランド・チャンピオン/グランド・プレミアをつくるまでの出陳、15点を蓄積する程度まで該当するスペシャリティーでの繁殖、または、猫を出陳するという必要条件(概要は第2章、A、8.b.のごとく)は、先の団体で同様な成果を達成することで満たされる。アプレントイス、アブルーバル・ベンディングからアブルーブドへと引き続く、完全な次の段階を、ジャッジング・プログラムに受け入れられた全ての申請者は満たさなければならず、同様な団体でその申請者がどのくらい経験を持っていたかには依らない。

D. CFA エグゼクティブ・ボードは、随意に特定の期間ジャッジング・プログラムへの参加のための申請者の受け入れの緊急停止を告示することがある。

E. エグゼクティブ・ボードは、いかに強く推薦されようとも、申請者が、スタンダード、ハンドリング技術の論理的、または技術的知識を、その審査リングにおいて、実際の練習に反映できるかどうかを決定することはできない。このような理由により、ジャッジング・プログラムへの参入は、トレーニーの地位からで、その個人が、その能力を、このプログラムの様々な状況において、ジャッジング・プログラム・コミッティーとエグゼクティブ・ボードの満足のいくように示した後にのみ、その個人は、より高い地位へと昇格するだろう。どのような場合にも、このプログラムのどの段階も省略されることはない。述べられた全ての要求項目は削減できない最小の要求である。

F. 申請者は、1度受け入れられると、エグゼクティブ・ボードの参加メンバーの 2/3 の不適切であるという投票によるには以外、このプログラムから除外されることはない。

## 第5章 トレーニー

A. トレーニーのためのカラークラス -ブリード/ディビジョン カラークラス評価

1. ジャッジング・プログラムに受け入れられた申請者は、トレーニーと称され、アブルーブド・ジャッジの監督下で、ブリード/ディビジョン カラークラスの評価の仕事をする資格がある。が、しかし、ジャッジング・プログラムへの参入のために、その人物をトレーニーとして個人的に推薦したアブルーブド・ジャッジを、監督として割り当てられることはない。

2. トレーニーはクラブのショー・マネージャーから、そのショーで、どのようなタイプのブリード/ディビジョン カラークラスの評価であっても、練習することの許可を書面で得ること。この書面はジャッジング・プログラム・トレーニー・アドミニストレーター (JPTA)へ、そのショーの開催日の少なくとも3週間前までに、その指導任務につくジャッジの名前を添えて送らなければならない。

JPTA は、そのトレーニーにもっとも有益であると思われる、指導ジャッジを割り当てるだろう。トレーニーが同一のショーで2人の監督ジャッジとともに、作業する事を認定されたショーでは、一つのショー/クラス分として、算定される。

3. トレーニーは、ツデー・オールブリード・ショー、1日のオール・ロングヘア、または1日のオール・ショートヘア・ショー、ツデー・スペシャリティー・ショー(1日はロングヘアに、1日はショートヘアに割り当てられている)、ワンデー・ショー、これはオールブリードリングのみ、で参加する事が認められる。1人のトレーニーだけがオール・ロングヘアまたはオール・ショートヘア・ワンデー・ショーに許され、ツデー・オールブリードショーでは、許されるトレーニーの数は2人までに制限される。トレーニーは連続した週末でのトレーニング評価を受けるスケジュールを立ててはならない(5章 4.c. 項に記載された状況での例外がある)。ジャッジング・プログラム・コミッティー/JPTA の判断で、必要な場合には、カラークラスの目的で、1つの猫種が1人以上のトレーニーに扱われることはないという規定に、例外が設けられることがある。ジャッジング・プログラム・コミッティー/JPTA は、どのトレーニーが、許可された形態での、どのショーで働くことに対しても、ジャッジング・プログラム・コミッティー/JPTA の意見として、そのショーでの環境が、そのトレーニーの進歩を適切に助長するものではないとした場合は、許可を拒む権限を保持している。

4. a) 最初のスペシャリティーのトレーニーは、最低8回のブリード/ディビジョン カラークラス評価を行うことが要求され、最後の3回については、単独クラスで行う事が要求される。計5つのショーは、所属リジョンの外か、または、その居住場所から少なくとも500マイル以

上離れたところでなければならない。またそのショーは大きな、完全なツーデーショーであることが強く推奨される。

b) 2番目のスペシャリティーのジャッジは最少5回のブリード/ディビジョン カラークラス評価を行う事が要求され、その最後の2回は単独クラスであることが要求される。計3つのショーは、所属リジョンの外か、または、その居住場所から少なくとも500マイル以上離れたところでなければならない。またそのショーは大きな、完全なツー・デー・ショーであることが強く推奨される。

c) 日本のトレーニーは合衆国で少なくとも2つのトレーニング授業を受けなければならない。それらの授業は費用を最小にするために、1週間しか間が空いていなくてもよい。最後の監督下のカラークラスと最初の単独クラスであることが強く勧められる。インターナショナル・ディビジョンからのロングヘア・トレーニーは合衆国でトレーニーをすることが推奨され、インターナショナル・ディビジョンからのショートヘア・トレーニーは合衆国で練習することが必要とされる。トレーニーは連続した週末にトレーニーをすることが許される。

5. トレーニーは、その個人がジャッジング・プログラムに受け入れられた後のCFA ジャッジズ・ワークショップに直ぐに参加することが推奨される。

6. トレーニーはその個人がカラー講習を受けるショーにエントリーをしてはいけない。

7. トレーニーはその個人が指導ジャッジにより解散とされるまでは、ショー・カタログに触れてはならない。

8. トレーニーは、そのジャッジの監督下で働くその日の審査が始まる前に、指導ジャッジに自己紹介し、そのリングでの全ての審査が完了するまで、または、指導ジャッジにより解散とされるまで、そのジャッジとともに、いなければならない。

9. トレーニーのための監督下でのカラー講習

a) 指導ジャッジはジャッジング・プログラム・トレーニー・アドミニストレーターの影響を受けて、そのトレーニーがどのブリード/ディビジョン カラークラスを審査するかを決定する。そのトレーニーが何のカラークラスを扱うかが決まった時、そのジャッジはジャッジズ・スリップを公式なジャッジズ・ブックから注意深くコピーし、トレーニーの判定のために複製する。トレーニーはそのクラブにジャッジズ・ブックを用意するよう要求してもよく、クラブはそのトレーニーの要求を受けよう(しかし、それは義務と言うわけではない)。

b) 時間を節約し、出陳猫の過度のハンドリングを避けるために、トレーニーは、それぞれの猫を、審査のために審査ケージから取り出し、その猫をジャッジング・テーブルに置くことが推奨される。指導ジャッジは、それ

ぞれの場合に、その猫を審査し、その間、トレーニーは後ろに立って指導ジャッジによるハンドリングと技術を観察する。指導ジャッジが審査を終えたのち、トレーニーはその猫を審査し、その猫の審査ケージに戻す。この手順は指導ジャッジの配慮で逆にしてもよい。指導ジャッジによるリボンの取り扱いの前に、トレーニーは自分のジャッジング・スリップにハンドリングした猫をマークし、個々の出陳猫へコメントし、適応される場合は、雄と雌のカラークラスでの1位、2位、3位とウィナーズ(オープンクラスの場合)、ベスト・カラーとセカンド・ベスト・カラー、ブリード/ディビジョンのベストとセカンド・ベスト、ブリード/ディビジョンのベスト・チャンピオンを与える。これらの決定には、記入時に相談することなく、独立して到達するものである。それぞれの出陳猫はそのブリード・カラーに対するCFAスタンダードにより審査されなければならない。

c) その後、指導ジャッジはそのジャッジ自身の決定に沿って全てのリボンをかける。トレーニーが書いた賞は、指導ジャッジにより与えられた賞に公式に関係することはない。

d) ブリード/ディビジョン カラークラス審査が指導ジャッジとトレーニーの両方で終わった時、賞について個人的に比較し議論するために話し合わなければならない。

e) トレーニーは3部複写のカラー・クラス・スリップを仕上げ、1部を、そのショーで指導ジャッジに渡さなければならない。残りの複写はジャッジング・プログラム・コミッテーターに、指導ジャッジのファイナルとトレーニングのために用いたブリード/ディビジョン・カラークラスを記入したカタログを添えて、郵送しなければならない。トレーニーは全てのCFA ジャッジング書式の記入方法と使用方法を熟知している事が望まれる。これらの資料はショーの後2日以内に郵送されなければならない。それは、そのトレーニーが次の予定されたカラークラス授業の前に、その様な記録を使用することを知らされる機会をもつ事を保証するためである。

10. トレーニーのためのソロ(単独で行う)カラークラス

a) トレーニーがジャッジング・プログラム・トレーニー・アドミニストレーターにより、より高度な仕事をする準備が出来たと思われるに十分なカラークラスの回数をこなし、満足のいく審査を行った後、そのトレーニーは指導ジャッジとともにその監督下で、単独でカラークラスを行うよう指示される。指導ジャッジは、リングの外からそのトレーニーが働くのを観察する。単独のクラスは2日間に渡って行われることもあるが、しかしそのトレーニーは1人の指導ジャッジとともにのみ、働くことが認められる。

b) 指導ジャッジとジャッジング・プログラム・トレーニー・アドミニストレーターはどのカラークラス、ブリードまたはディビジョンがそのトレーニーにより行われるかを定める。指導ジャッジは位置について出陳猫を審査し、自分のジャッジブックにマークする。トレーニーのクラスはオ

ープン、チャンピオンまたはグラウンドの地位としての分類で印刷されている。その 트레이ニーは次に、指導ジャッジにリングへと呼ばれ、指導ジャッジは、観客席からトレーニーが全体の審査をするのを観察する。トレーニーは、適応される場合は、雄と雌のカラークラスでの1位、2位、3位とウィナーズ(オープンクラスの場合)、ベストカラーとセカンドベストカラー、ブリード/ディビジョンのベストとセカンド・ベスト、ブリード/ディビジョンのベスト・チャンピオンを与える。リボン/ 永久使用リボンはそのジャッジのテーブルに用意されているものの中から使用する。トレーニーは自分の決定に従ってリボンをかけ、自分のジャッジ・ブックに賞をマークする。トレーニーの審査が完了後、トレーニーは自分が掛けたりボンを外し、指導ジャッジはリングに戻り、公式なりボンを掛ける。トレーニーの与えた賞は公式なものではない。トレーニーはショーの主催クラブにより用意されたりボン/ 永久使用リボンを使用する。指導ジャッジの裁量で、そのジャッジは、トレーニーに上位5位/上位10位のファイナルを準備し、執り行うことを要求することができる。

c) その後、指導ジャッジとトレーニー間での個人的な議論がなされる。注意:トレーニーの審査と公式な審査での決定に幾つかの相違点がある事が考えられる。トレーニーは自分の決定に対する論理的な理由を示す事が求められ、追加的にカラー・クラスの仕事をすることが求められることがある。

B. 指導ジャッジは、それぞれの場合ごとに、エバリュエーション・フォームに記入しサインし、その書式はジャッジング・プログラム・コミッティーに郵送される。ジャッジは、その書式に記載されている質問に答える事に加えて、トレーニーの審査に対する評価の、目に見える側面と無形な側面の両方について、適切なコメントをし、また、ジャッジが感じた、トレーニーの将来と、ジャッジング・プログラム・コミッティーがトレーニーの進歩に具体的な評価をする事の助けになるだろう助言をする事が求められる。エグゼクティブ・ボードがこのプログラムからトレーニーを昇進させるか、延期するか、落とすかどうかを決定しなければならない以前に、ジャッジング・プログラム・コミッティーとエグゼクティブ・ボードが、そのリングにおけるトレーニーのパフォーマンスに出来るだけ多くの情報を持つ事が重要である。

C. トレーニーがハウス・フォールド・ペットを審査する場合は、そのトレーニーはCFA ショールールに記載されているよう払い戻しを受ける。

D. トレーニーは、審査の招待の可能性を議論したり、アプレンティス・ジャッジの地位へエグゼクティブ・ボードにより昇格される事を見越しての、どのような招待をも受け入れてはならない。

E. 最初のスペシャリティー・ジャッジは、トレーニーとして受け入れられた1年後に開催されるCFA ボード・オブ・ディレクターの会議で、アプレンティスの地位に昇格する資格が出来る(例えば、2000年の6月に受け入れられた場合、2001年の6月の昇格の資格が得られる)。トレーニーは必

要とされるブリード/ディビジョン・カラークラス評価のトレーニングを完了するのに2年の期間が与えられる。医療上の理由や酌量されるべき状況に対して、エグゼクティブ・ボードにより延長が承諾される場合もある。2年以内にカラークラスを完了しなかったトレーニーは2年の期間の後にジャッジング・プログラムに再申請出来る。2番目のスペシャリティー・トレーニーは適切なトレーニング・プログラムに移行することが出来る。

## 第6章 アプレンティス・ジャッジ

A. ジャッジング・プログラム・コミッティーの満足がいくように上記の必要事項を満たしたトレーニーの名前は、アプレンティス・ジャッジの地位に昇格する可能性ありとしてエグゼクティブ・ボードに提示される。

B. ジャッジング・プログラム・コミッティーとエグゼクティブ・ボードによる、全ての必要とされる書類、関連資料、その他の入手可能なそのトレーニーに関する直接的な情報の審議の後、エグゼクティブ・ボードは記名投票を行う。出席メンバーの2/3以上の賛成票が、アプレンティスの地位への昇格に必要とされる。

C. クラブは、そのアプレンティス・ジャッジが認可されたいずれのブリードまたはカラーを審査するためにでも、アプレンティス・ジャッジを、招聘してもよい。

D. アプレンティス・ジャッジはジャッジのためのCFA ショールールにおいて規定された全てのルールと規約を遵守する。

E. アプレンティス・ジャッジはアプレンティス・ジャッジのためのショー・ルールにおいて規定された料金を請求する。ジャッジがあるカテゴリーにおいてはアプレンティスの地位に、もう一つのカテゴリーにおいてはより上の地位にある場合は、そのジャッジはアプレンティスの地位として審査するショーの部分に対してはアプレンティスの料金を請求する、より高い地位として審査したそのショーでの部分については、通常はその地位での料金を加えて請求する。さらに、そのジャッジを雇い入れたクラブにより、交通、宿泊、食事、税金、チップのための費用の払い戻しを受ける。

F. アプレンティス・ジャッジによりアプレンティスの地位の間にサインされた全ての契約は、ショーの日付時のそのジャッジの地位に関わらず、アプレンティスの地位において、アプレンティス・ジャッジとして適応出来る料金で支払われなければならない。

G. このプログラム中の手順や、ショールールやスタンダードの説明に関して疑問を持つアプレンティス・ジャッジは、ショーで審査しようとする前に、ジャッジング・プログラム・コミッティーに意見を聞くよう、強く勧められる。ショー時の諮問は許されない。

## 第7章

### アプレントイスとアブルーバル・ペンディング・ジャッジの昇格のための必要条件と手続き。

A. 以下の条件は他のどのような要素が審議される以前に昇格のための必要条項として満たされなければならない。このプログラムのどのような段階をも、どのような場合においても、省略されることはない。

1. それぞれの昇格の審議に対し、インターナショナル・ディビジョンまたは日本に住んでいるジャッジは除いて、最低でも2つのショーはそのジャッジの住んでいるリジョンの外か、そのジャッジの住んでいるところから500マイル以上離れたところで審査がなされたものでなければならない。インターナショナル・ディビジョンにおいては、そのジャッジが住んでいる国の外での2つのショーが、アプレントイスとアブルーバル・ペンディングのカテゴリーにいる全てのジャッジにおいて、それぞれの昇格資格のために必要とされ、日本においては、そのジャッジが住んでいる所から、少なくとも240キロメートル離れたところでの、2つのショーが、エグゼクティブ・ボードによる昇格のための審議資格を得る以前に、アプレントイスとアブルーバル・ペンディングのカテゴリーにいる全てのジャッジに必要とされる。ジャッジはそれらのショーをとり行うクラブの現メンバーであってはならない。

2. いずれの特定の昇格に対しても、必要事項は48ヶ月以内に完了されなければならない。これらの必要事項を満たしていないアプレントイス・ジャッジは、ジャッジング・プログラムから除外され、アブルーバル・ペンディング・スペシャリティー・ジャッジはアプレントイス・スペシャリティーの地位に降格される。この要求項目はアブルーバル・ペンディング・オールブリードジャッジには適応されない。

B. アプレントイス・スペシャリティー・ジャッジはアブルーバル・ペンディング・スペシャリティー・ジャッジの地位への昇格のための審議資格が出来る前に、最少8回の完全なチャンピオンシップ・ショーで満足のいくように審査せねばならず、そのうちの2回はリジョンの外か、自分が住んでいるところから500マイル以上離れたところでのショーでなければならない。8回の必要とされる評価を満たすために、そのジャッジはそのジャッジが会員資格を保持しているクラブのショーで役職に就いている場合もあるが、しかし、そのようなクラブからの2つを越える評価表はこの要求項目を満たすために用いられることはない。

C. アブルーバル・ペンディング・スペシャリティー・ジャッジは、アブルーバル・スペシャリティー・ジャッジの地位への昇格のための審議資格が出来る前に、最少8回の完全なチャンピオンシップ・ショーで満足のいくように審査せねばならず、そのうちの2回はリジョンの外か、自分が住んでいるところから500マイル以上離れたところでのショーでなければならない。8回の必要とされる評価を満たすために、そのジャッジはそのジャッジが会員資格を保持しているクラブのショーで役職に就いている場合もあるが、しかし、そ

のようなクラブからの2つを越える評価表はこの要求項目を満たすために用いられることはない。

D. 1つのスペシャリティーでアブルーバルで2番めのスペシャリティーでアブルーバル・ペンディングのどのジャッジも、アブルーバル・ペンディング・オールブリード・ジャッジ(アブルーバル・エニー・スペシャリティー)の地位への昇格のための審議資格が出来る前に、最少12回のチャンピオンシップ・ショーで満足のいくように審査をしなければならない、そのうちの2つはリジョンの外か、自分が住んでいるところから500マイル以上離れたところでのショーでなければならない。12回の必要とされる評価を満たすために、そのジャッジはそのジャッジが会員資格を保持しているクラブのショーで役職に就いている場合もあるが、しかし、そのようなクラブからの2つを越える評価表はこの要求項目を満たすために用いられることはない。

E. アブルーバル・ペンディング・オールブリード・ジャッジは、アブルーバル・オールブリード・ジャッジの地位への昇格のための審議資格が出来る前に、最少12回のチャンピオンシップ・ショーで満足のいくように審査をしなければならない、そのうちの2つはリジョンの外か、自分が住んでいるところから500マイル以上離れたところでのショーでなければならない。三回の審議の後、アブルーバルの地位へ昇格しなかったアブルーバル・ペンディング・オールブリード・ジャッジは、アブルーバル・ペンディング・オールブリードの地位から排除され、アブルーバル・エニー・スペシャリティー・ジャッジと称される。ジャッジはそのショーを主催した2つのクラブだけの、現メンバーであってもよい。(1996年10月5日以前のジャッジング・プログラムにいる全てのジャッジは、1994年10月のルールのもとに、規制条項免除される。しかし、レポートが承諾された場合にのみである。)

F. アプレントイスまたは、アブルーバル・ペンディング・ジャッジにより審査されるそれぞれのショーのために、ジャッジング・プログラムから供給されるエバリュエーション・フォームは、大多数のショー・コミッティーにより完成され、サインされ、ジャッジング・プログラム・コミッティーにそのショーの開催日より30日以内に送られなければならない。

G. 必要事項を完成させた上での昇格は、エグゼクティブ・ボードの記名投票によりなされる。ジャッジング・プログラム・コミッティーと、エグゼクティブ・ボードによる、エバリュエーション・フォーム、審査作業のレポート、ジャッジング・プログラム・コミッティーとエグゼクティブ・ボードが入手可能なその他の直接関係のある情報の審議の後、エグゼクティブ・ボード参加メンバーの2/3以上の賛成票が昇格のために必要とされる。

H. アプレントイスとアブルーバル・ペンディング・ジャッジ、トレイニーは、ハウス・フォールド・ペットを含み、どのようなショーにおいても審査する場合には、ジャッジング・プログラム・コミッティーに、そのジャッジが受け入れられた審査のどれを受け持つかを、そのショーの初日の最少でも30日前に届け出なければならない、それはエバリュエーション・フォームが契約クラブに時間的にうまく送られるた

めである。このような事前届け出がジャッジング・プログラム・コミッティーに規定時間内に送られないどのショーでの仕事に対しても、クレジットは与えられない、そのジャッジが急な代理として働いた場合のショーは例外とされる。この場合は、ジャッジング・プログラム・コミッティーには、契約書にサインされたとき通知される。

I. この章に含まれる昇格の全ての必要事項は絶対に縮小出来ない最少のものであって、これらを満たす事が昇格のための審査を保証するものではない。ジャッジング・プログラムにいる誰もが、ジャッジング・プログラム・コミッティーの意見のもとに、それが有益と思われたとき、ジャッジング・プログラム・コミッティーにより、さらなるショーをこなす事が要求される場合もある。

## 第8章 ライセンシング(認可制について)

A. アブルーブド・ジャッジは1年ごとにライセンシングされる。それぞれの名前がライセンシングの前の再審査のためにエグゼクティブ・ボード以前に提出される。

B. アブルーバル・ペンディング・ジャッジは1年毎にライセンシングされる。それぞれの名前がライセンシングの前の再審査のためにエグゼクティブ・ボード以前に提出される。

C. アブルーバル・ペンディングまたはアブルーブド・ジャッジの地位への昇格は、そのライセンシング任期の残りの期間の間、その地位に自動的に就くことでなされる。

D. 12ヶ月以上活動していないアブルーブド・ジャッジはジャッジング・プログラム・コミッティーから、その個人のその地位における追加的トレーニングを受けるための許可を請求できる。アドバンスド・リフレッシュャー・コースはジャッジング・プログラム・コミッティーにより指名されたアブルーブド・オールブリード・ジャッジの監督 下で、より高度なカラークラスとブリード/ディビジョンの仕事を行う事を含んでいる。書面での報告が、ジャッジング・プログラム・コミッティーに、監督ジャッジにより提出される。

E. アブルーブドまたはアブルーバル・ペンディング・ジャッジに再ライセンス取得をさせない事には、エグゼクティブ・ボードの前に、CFA 憲章の第13章に明記されているように、通知と聴聞会が必要である。

F. アプレンティスまたは、アブルーバル・ペンディングのカテゴリーで5票かそれ以下の投票しか受け取れなかったどのジャッジも、書面で助言を受け、その特定の理由が考慮のために述べられる。

G. ジャッジは24ヶ月の期間の間に、リーブ・オブ・アブセンス除いて、少なくとも5回のショーで審査を行わなければ

ならない。そうしなければ、そのジャッジはジャッジング・プログラムから除外されるだろう。

さらに、CFA ジャッジズ・ワークショップまたはブリード・アウエアニス・アンド・オリエンテーション・スクールに少なくとも7年毎に参加する事が、再ライセンス取得のための必要事項である。

H. アプレンティス・ジャッジはエグゼクティブ・ボードによりライセンスが授与され、見習い中の地位となる。

I. トレーニーはライセンスを持たず、ジャッジング・プログラムにエグゼクティブ・ボードにより、見習い中の地位に留め置かれる。

J. トレーニーとアプレンティス・ジャッジは、見習い中の地位にあるので、ジャッジング・プログラムから、随時、現存する規則や制限、または将来適応されるであろうルールへの違反に対して、通知や聴聞会がないままに、ジャッジング・プログラムから除外される。彼らは、さらに、エグゼクティブ・ボードの意見において、このようなトレーニーやアプレンティス・ジャッジが、十分なハンドリングの能力、メカニクス、ブリードやスタンダードの十分な知識を持たない;または自分の知識をショーのリングで実際の練習へと応用することが出来ない;または、自分が全ての状況において、ショーリングの滞りのない、威厳のあるコントロールのために必要となる、無形の資質を持っていない;または、短く言うならば、必要な知識、能力、CFA の信望や公における印象に寄与するために必要となる資質が示されないと、明らかになった場合、ジャッジング・プログラムから除外されるであろう。エグゼクティブ・ボード参加者の2/3以上の投票が、トレーニーやアプレンティス・ジャッジがジャッジング・プログラムからの除外のために必要とされる。

K. ジャッジング・プログラムから除外されたトレーニー、または再ライセンス取得出来なかったことで、ジャッジ名簿から除外されたジャッジは、2年の経緯の後、再申請出来る。再申請したジャッジは再ライセンス取得出来なかった時に持っていた地位の1つ下の地位に置かれるよう考慮される。

L. ジャッジング・プログラムに参入するためのそれぞれのアプリカント、それぞれのトレーニー、CFA ジャッジ名簿のそれぞれのメンバーは、CFA のジャッジとして、このプログラムの下に参加し、昇格し、または役目を果たすことを許可されるための審査の前に、以下の宣言文にサインしなければならない:

”私は、疑問の余地のない道徳的な性格を持ち、感銘を与える信任状を持つアプリカントのみがCFA のジャッジング・プログラムへの参入のために審査されることを、理解しております。私は将来の昇格のための審議についてももちろんのこと、この最初の申請に関しても、ジャッジング・プログラム・コミッティー、CFA ・ボード・オブ・ディレクター、またはCFA によりなされた、どのような勧告や決定にも従い、それを受け入れることに同意します。全ての決定は、現在の、そして将来のCFA ショールールとCFA ジャッジ

ング・プログラム・ルールに従って、義務とし、決定的なものとします。”

M. エグゼクティブ・ボードは、ジャッジング・プログラム・コミッティーの勧告や、適切な書面により提供されたジャッジの要請に際し、1年を越えない期間、リーブ・オブ・アブセンスをジャッジやトレーニーに承諾する事が出来る。そのジャッジまたはトレーニーは、その者がリーブ・オブ・アブセンスに置かれた時の同じ地位で、ジャッジング・プログラムに参加を開始する許可が与えられるだろう。

## 第9章 インターナショナル・ディビジョン

### A. インターナショナル・ディビジョン・ジャッジング・プログラムへの申請のための必要事項

この章はどちらのスペシャリティーにも現在いない最初のアプリカントのためのものである。ひとたびジャッジとして資格を認められた場合、そのようなアプリカントはインターナショナル・ディビジョンの地域においてのみ、ショーで審査すること、と制限される。(第2章、ジャッジング・プログラムへの最初の申請、FIFe とその他の国際的団体から本式の CFA ジャッジング・プログラムへの参入を望むジャッジのための必要項目を参照)

1. FIFe, GCCF または独立した団体のいずれかに登録されたキャッテリーでの7年間の継続した繁殖経験、キャッテリーは少なくともその7年のうち、4年間は CFA に登録されていなければならない。キャッテリー登録のコピーが提供されなければならない。
2. CFA のサーティファイドクラークとしての資格(メカニクスのために重要)
3. CFA グランドチャンピオンを1頭繁殖していること。
4. 相当するスペシャリティーのための、CFA ジャッジング・ブリード・アウエアニス・アンド・オリエンテーション・スクールに評価トレーニングの最初の1年のうちに参加すること。
5. トレーニーとしての申請。ロングヘアートレーニーは合衆国で訓点することが勧められる。ショートヘアートレーニーは合衆国で訓練する事が要求される。トレーニーは続いた週末に訓練する事がゆるされる。
6. アプレントイスへの昇格の後、アプルーバル・ペンディングへ昇格するために、2頭目の CFA グランドチャンピオンを繁殖しなければならない(評価の必要とされる回数に加えて)。
7. アプルーブドに昇格するために、評価の必要回数に加え、3頭目の CFA グランド・チャンピオンをブリードしなければならない。

8. 他の国際団体から来るジャッジは他の団体の中での個々人の基盤にもとづいて考慮され、その団体でのショー歴、繁殖歴は要求項目へ算入される。しかし、以下は他の団体での活動に関わらず、必須事項である。

- a. CFA のサーティファイド・クラークとしての資格
- b. 相当する、1つのスペシャリティー / 両スペシャリティーのための、CFA ジャッジング・ブリード・アウエアニス・アンド・オリエンテーション・スクールへの参加

最少6回の CFA のショーを、良い評価でゲスト・ジャッジとして審査した他の団体のジャッジに対して、例外措置が CFA ボード・オブ・ディレクターズにおいてなされるだろう。CFA ・アプルーブド・インターナショナル・ジャッジへと昇格した後、CFA ・ボード・オブ・ディレクターズの認可でジャッジング・プログラム・コミッティーによる決定がなされたカテゴリーへ、そのジャッジは正規の CFA ジャッジング・プログラムへの申請をすることが出来る。

### B. ジャッジの招聘

1. CFA ジャッジング・コントラクトが、ジャッジと主催クラブにより仕上げられ、全ての認定された非-CFA ショーと、全てのインターナショナル・ディビジョン、CFA 加入クラブにおいて用いられる。非-CFA 団体のショーのショー・ルールとブリード・スタンダードに、ゲスト・ジャッジとして公式に認定された CFA ジャッジは従う。

2. 外国の猫団体に加入しているクラブからの招聘は、CFA ジャッジング・プログラム・コミッティー/CFA エグゼクティブ・ボードの認定を得るために提出され、アプルーブド・オールブリード、アプルーバル・ペンディング・オールブリード、または、アプルーブド・スペシャリティー・ジャッジによるもののみ、考慮される。ジャッジは、そのジャッジがアプルーブドであるスペシャリティーでのみ審査することが出来る。注意: そのような割り当ては昇格のための必要条項に算入されない(第7章、昇格、A.2 項目参照)。

インターナショナル・ディビジョンの CFA クラブからの招聘はアプルーブド・オールブリード、アプルーバル・ペンディング・オールブリード、またはアプルーブド・スペシャリティー・ジャッジにより考慮されてもよい。ジャッジはそのジャッジがアプルーブドであるスペシャリティー(複数可)でのみ審査することが出来る。

資格があると認められた国際的な猫団体に対して、ゲスト・ジャッジにと招聘されたジャッジは、契約書にサインする前に、許可を要求し、CFA ジャッジング・プログラム・コミッティーから許可を受けなければならない。このような許可は半径 500 マイル(または、同等なキロメートルで)以内で予定された CFA のショーがない、または、ヨーロッパの1つの国の中で、その時に、許可が認められたショーない、という条件でなされる。認可が認められた、ライセンスのある CFA ショーは、その認可が無効にされることはない。

注意：インターナショナル・ディビジョンに居住する全てのジャッジは(その地位に関係なく)前述のショーで審査する資格がある。

3. ジャッジが、外国とされたところのショーを、CFA クラブまたは非 CFA 加入クラブに対して受け入れるための認可は、航空券か、そのようなチケットの支払いをジャッジがそのショーに先立って受け取ることが条件である。もし、支払いが小切手でなされた場合、その小切手がそのジャッジの銀行で取り扱われことを調べるのは、ジャッジの責任である。CFA はジャッジの不当な小切手や航空券の不払いにたいする払い戻しの責任はとらない。

4. インターナショナル・ディビジョンの CFA クラブは、必要とされるなら、それぞれのジャッジに対し、週末のショーに続く期間の、ホテルの便宜を提供しなければならない。ジャッジがショー・ホテルに宿泊せず、契約が交わされたショーの間に、他の所へ旅行する場合は、クラブにより払い戻される理にかなった食事代と、ショー・ホテルの費用以上のものが、ジャッジにより請求されることはない。

5. 非 CFA でのゲスト・ジャッジの招聘に対しては、その受諾前に、ジャッジにより、ジャッジング・プログラム・コミッティーによる許可の請求がされなければならない。そのような請求はインターナショナル/日本ゲスト・ジャッジング任命者の責任で、指名された人物を通してなされる。

## 第10章 全ての 트레이ナー と ジャッジ の 行 為

A. 全てのトレーナーとジャッジは、どの地位であろうが、いつも自分自身や、自分の団体、自分のジャッジ仲間、猫愛好家たちに対し誇りを持つよう、自分自身を律さなければならない。

B. ジャッジは、他のジャッジ、観客、ショー・コミッティー、ショー・セクレタリー、その他の人々や、または CFA の活動に関連した組織に対し、礼儀正しくすることが望まれる。

C. このプログラムにいる個人はそれぞれ、その個人の貢献を求めようとする問い合わせに対し、迅速に返事することが望まれる。

D. このプログラムに、どのような立場であろうと、関係している個人は、それぞれが、いつもプロフェッショナルで、威厳ある態度で、審査リングの中でも外でも、自分自身を律さねばならず、自分が、CFA の使節としての立場で、貢献していると言うことを心に留め、この組織への誇りを持つよう努めなければならない。

The Cat Fanciers' Association, Inc.  
JUDGING PROGRAM RULES  
ザキャットファンシヤーズアソシエーションインク  
ジャッジングプログラムルール日本語版  
2001年10月1日施行 2003年6月改訂  
発行 CFAジャパンリジョン  
発行責任者 小泉かよ子  
翻訳責任者 新本美智枝  
2004年3月 第1刷発行  
CFAジャパン事務局  
〒243-0021 神奈川県厚木市岡田4-30-15  
tel 046-228-9084 fax 046-228-9743